元気　友達　笑顔　いっぱい　かがやく　　令和４年８・９月号

小田小だより

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西１丁目６９番１号　TEL045(775)3011

http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/koda/　　横浜市立小田小学校

夏休み明けの学校の再スタートにあたって

校　長　中川　浩二

長い夏休みが終わり、昨日より子どもたちが元気に登校し、校内は久しぶりに笑顔と活気にあふれていました。みなさま、夏休みはどのように過ごされましたでしょうか。今回の学校だよりでは、夏休み明けの学校の再スタートにあたって、次の２点について保護者のみなさまにお伝えします。

１点目は、「ゲームやＳＮＳ・動画視聴」の学力への影響についてです。７月下旬のニュースなどでご存じの方も多いと思いますが、文部科学省が実施した令和４年度の全国学力・学習状況調査（小６と中３が対象）の結果が公表されました。同結果では、「１日あたりのゲーム（携帯式ゲームやスマホなどを使って）の時間が長いほど、各教科の正答率が低い傾向」、「１日あたりのＳＮＳや動画視聴（携帯電話やスマホを使って）などを行う時間が長いほど、各教科の正答率が低い傾向」にあると分析しており、学力への影響を示唆しているとみることができるでしょう。夏休みの期間中、お子さんがお家で「ゲームやＳＮＳ・動画視聴などの時間が長くなった」と感じているご家庭があるかもしれません。夏休みが終わり、学校が再スタートしました。このタイミングに、学力への影響をふまえて、ゲームやＳＮＳ・動画視聴などを行う時間が長くならないよう、お子さんとの話し合いを通して適切なルールを決めるなど、ご家庭で取り組んでいただければ幸いです。

２点目は、夏休み明けの子どもの気持ちの「変化」についてです。夏休み明けの登校をお子さんは、「学校に行きたい！」「友だちと会いたい、遊びたい！」「先生と話したい！」「勉強したい！」など楽しみにしていることと思います。一方で、お子さんが、長い休みに慣れて、やる気がおきない気持ちになることもあります。仕事をする大人も同じで、長い休みの後、出勤することが億劫になることもあります。生活リズムが戻らず、まだ眠いお子さんに元気よく声をかけて、登校をうながしていただいたご家庭もあるのではないでしょうか。夏休み明けは、子どもの気持ちに「変化」がおきやすい時期だと言われています。「変化」は、やる気のほか不安や心配な気持ちになる場合があります。ご家庭でも夏休み明け、いつも以上によく声をかけたり、話をよく聴いたりしながら、お子さんの表情や様子をよく見ていただきますようお願いいたします。ご心配な点など何か気にかかることがありましたら、遠慮なく学校にご相談ください。

一年間の中間期にあたる夏休み明けから冬休みまでの４ヶ月間は、４月から７月までの「基礎作り」の期間を経て、さらにステップアップし「充実した活動」をする期間と位置付けられます。夏休み明けも、子どもたちが健やかに成長していくことができるよう努めてまいります。

【参考】国立教育政策研究所ホームページより

令和４年度 全国学力・学習状況調査の結果（概要）　Ｐ25 ２（５）．その他（ゲームやＳＮＳ・動画視聴の状況）

【校舎の外壁改修工事】

夏休み期間中から校舎全面の外壁改修工事を実施しています。現在、足場を組んだ状態になっており、ご来校の際は、ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力のほど、お願いいたします。工事完成の時期は、11 月頃を予定しています。

正門側から撮影

副門側から撮影